取扱説明書

DAYTONA
S63304①/⑥

*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡しください。

Power Advance Digital C.D.I.	適応車種	商品NO.
	＊リモコンJOG-ZR（06～）5SW5 ＊JOG-ZⅡ（06～）5SW6	63304

この度はデイトナ「パワーアドバンス・デジタルCDI」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめください。
なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

〈適合について〉

＊ リモコンJOG-ZRは型式5SW5、2006年式以降の車両です。この型式以前のモデルには使用できませんのでご注意ください。

〈特徴〉

○ 全回転域において点火時期が最適になるようデジタル制御し、性能をフルに引き出します。
○ 全てのチューニング車両に使用できます。特にボアアップ車両には大幅なパワーアップが期待できます。
○ タコメーターへ直接接続できる配線を装備。これにより、正確な表示が行えます。

〈商品内容〉

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
1	デジタルCDI		1	2	タイラップバンド	L=300	2

〈注意事項〉

- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。
  ※ 同一規格のCDIカプラー採用車には差し込めてしまいますが、回路破損など、正常に機能しません。
- **この商品は道路運送車両法および道路運送車両の保安基準に適合しております。但し、一般公道において、原付一種の場合は30km/h、原付二種の場合は60km/hを超える速度で走行した場合は、ライダー自身が道路交通法違反（速度超過）で罰せられます。一般公道では必ず遵法運転を心掛けてください。**
- この商品を使用する際は、**エンジン高回転域使用に耐えうる熱価の新品プラグ（標準から#1～2アップ）に必ず交換してください。**ご使用状況に合わない熱価のプラグ（または磨耗したプラグ）を使用されると、先端電極が溶けてしまい、ピストン穴開きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。
- **使用するプラグは、必ず抵抗入りのレジスタープラグとしてください。**レーシングプラグなどはノイズを発生しやすく、CDIの性能低下や作動不良、破損の原因（保証対象外）となります。
- **プラグキャップは純正をご使用ください。**純正以外のプラグキャップを使用されると、タコメーター直結配線から正確な回転数を表示できない、CDIが正常に作動しない、などトラブルの原因となります。
- この商品はマイコンチップ内蔵のフルデジタルCDIです。**エンジン始動時に純正CDIよりも多くの起動電圧を必要としますので、バッテリー状態の点検を必ず定期的に行ってください。**安定起動電圧が確保できないと、エンジン始動が困難となる場合があります。また、CDI装着後アイドリングが若干低くなる場合は、適切にアイドリング調整してください。
- この商品はバッテリー点火方式のCDIです。**レギュレータを取り外すとエンジン始動できなくなります。**レースに使用される場合などはご注意ください。尚、ノーマル車両とは異なる配線状態の車両において発生した不具合（または破損）につきましては、当社では一切保証できません。予めご了承ください。
- **各種灯火類（フォグランプやバルブなど）の変更や車体電装の改造などが原因で、CDIに悪影響を及ぼす場合があります。このような場合のクレームは一切お受けできません。**予めご了承ください
- **この商品のタコメーター直結配線のギボシ部が、車体ボディの金属部（ボディアース）に直接接触すると、瞬間的な過電流が発生し、CDIが破損する場合があります。**構造上、CDIは分解修理不能につき、このような破損トラブルにつきましては、当社では一切保証できません。予めご了承ください。
  ※ このタコメーター直結配線を使用しない場合は、ギボシ部をビニールテープ等で確実に絶縁し、走行中不用意に動かないよう、しっかりと固定してください。

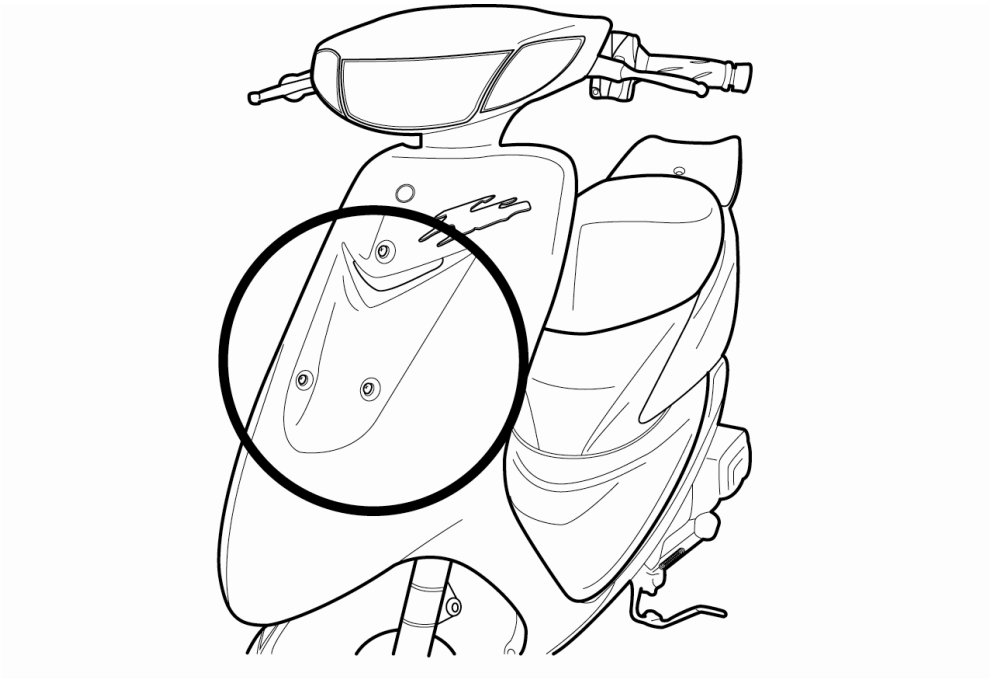
〈注意事項〉続き

- 外観不良（バリやキズ、ポッティング割れなど）に関するクレームは一切お受けできません。予めご了承ください。
- 不適切な使用状況下でのエンジントラブル（焼き付きや破損）や、常識の範囲を超えた車体改造などにより発生した事故や怪我などにつきましては、当社では一切保証できません。予めご了承ください。
- 他社製品との組み合わせは未確認（保証対象外）です。予めご了承ください。
- 取り付け後約 100km 走行しましたら各部を点検してください。その後は 500km 毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所を点検してください。
- この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品につきましても同様です。予めご了承ください。

■ 取り付け詳細図■

（リモコンＪＯＧ－ＺＲ）

＜純正ＣＤＩの場所＞

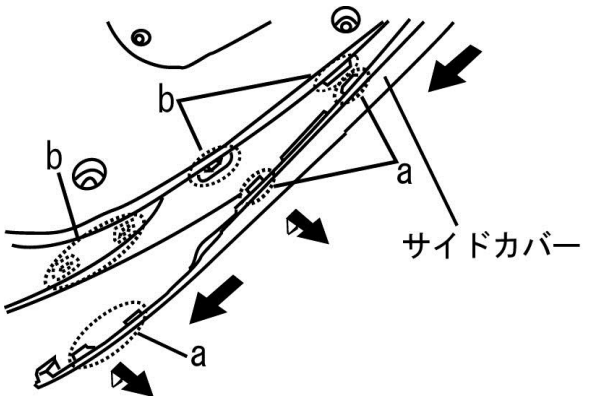


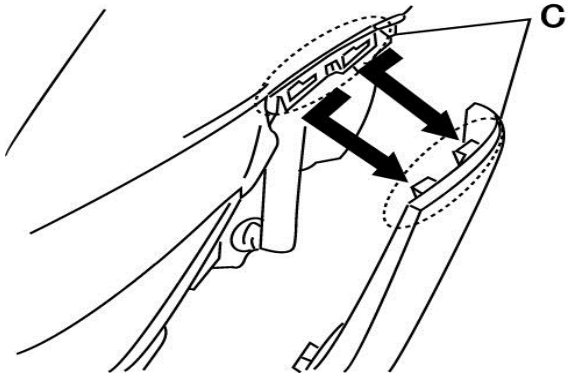
フロントカバー内にＣＤＩがあります。

＜サイドカバーの取り外し＞

1, 左右のサイドカバーの取り付けビス 3 本をそれぞれ外し，図を参考にａ部分をｂ部分から外します。その際、車体前方から順に上方に持ち上げて取り外してください。

2, Ｃ部分は前方にスライドさせて取り外します。



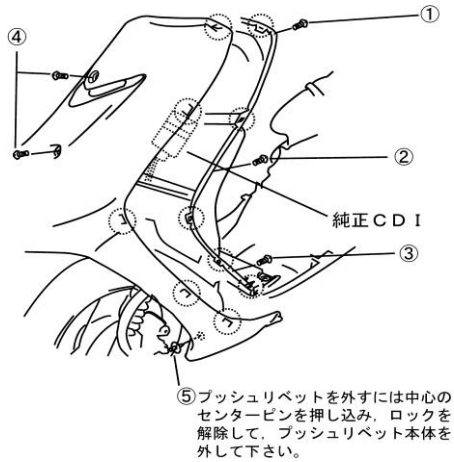


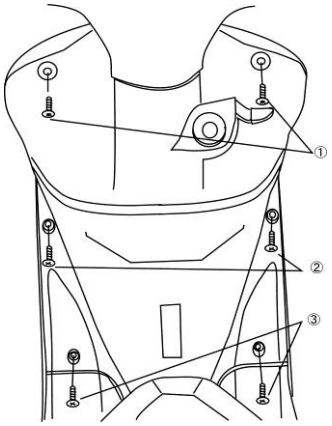
＜フロントカバーの取り外し＞

3, 図を参考に①～③のビス（トルクスネジを含む）各 2 本ずつ計 6 本を取り外します。

4, 図を参考に④ネジ 3 本と⑤プッシュリベット 2 本を取り外します。

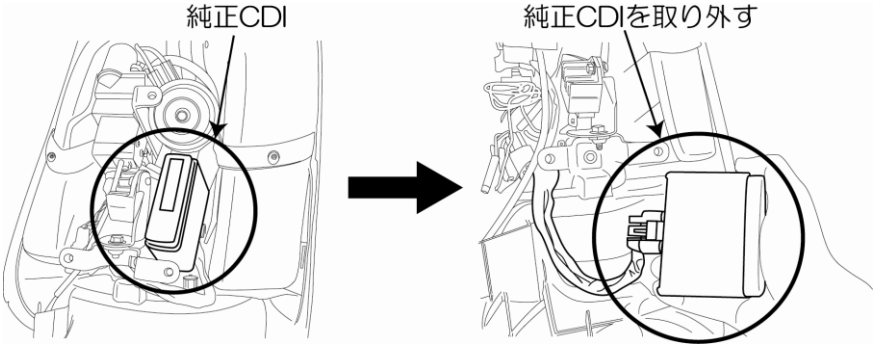
5, フロントカバーの爪部分を折らないよう、慎重にフロントカバーを取り外してください。





6, 純正のＣＤＩをコネクターから外し、1. デジタルＣＤＩと差し替えてください。

（この時、メインスイッチがＯＦＦになっている事を事前に確認してください。）



7, 1. デジタルＣＤＩを 2. タイラップで固定してください。

8, エンジンを始動してください。この時、エンジンが始動しにくい場合はキックで始動してください。

9, エンジンが始動できる事を確認したら、取り外したパーツを元通り組み付け、作業は完了です。

故障かな？と思ったら．．．（基本的に純正ＣＤＩから変更した時に起り得る症状を記載しています。）

症状	原因または対処
エンジンが始動できない 火花が弱い（または飛ばない）	１．カプラーの接続が完全に行われていない ２．プラグの不良／かぶり ３．適応車種が違う　※不適合でもカプラー形状が合う場合があります ※中古で車両購入された場合は、エンジン型式が異なっていたり、車体側ハーネスが加工されているケースがあります。
キックでは始動できるがセルで始動できない。またはセルが回らない	１．バッテリーやレギュレターの性能低下（または不良） ２．プラグの不良／かぶり
純正ＣＤＩではエンジンが始動できる	デジタルＣＤＩはエンジン始動時にも純正よりも多くの起動電圧を必要とします。バッテリーの電圧を確認してください。または強めにキックしてみてください。もしくは、パルスジェネレーターのギャップを詰めてください（クーリングファンの奥の、ローター信号を読み取るセンサー） それでも始動出来ない場合はＣＤＩの破損、適応違い等が考えられます
アイドリングをしない （または安定しない）	１．バッテリーの性能が低下している ２．アイドリングを少し上げてください
全開走行後、エンジン回転が高い。	キャブセッティングが適切でない疑いあり。エアスクリューを 1/8 から 1/4 回転程締め込んで濃くし、アイドリングを再調整してみてください
高回転まで吹け上がらない。	１．カプラー部の電極が焼けてしまっている。⇒　配線部分を確認する ２．同時装着パーツとのマッチングが良くない ３．キャブレター／駆動系のセッティングが合っていない
走行中エンジンが止まってしまった。	ＣＤＩの直接原因とは考えにくいです。プラグやキャブレターセッティングなど、不適切な使用状況下でのエンジントラブルの可能性が高いといえます
灯火類が切れてしまった。	ＣＤＩが直接原因ではありません。灯火類の配線状態やバルブの組み付け状態を確認する事をオススメします
リミッターが解除されない。	エンジンが始動できるならＣＤＩ自体は正常で、電気リミッターはもちろん解除されています。プーリーやマフラーなどが原因でスピードの上がらない症状になっている可能性が高く、状態確認（または交換）する必要がありそうです

Power Advance Digital ＣＤＩの概要

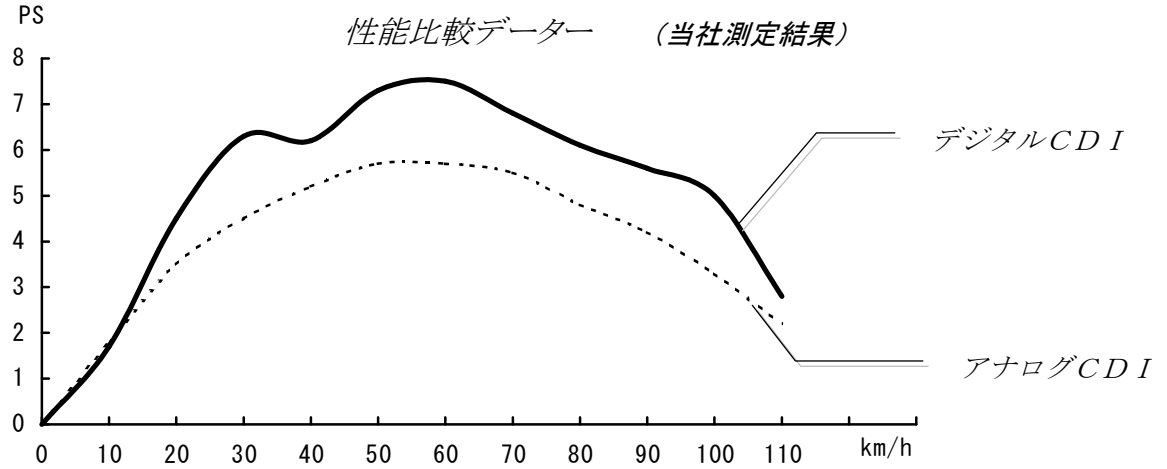
「デジタルＣＤＩのメリット」

小排気量車の主流である CDI 点火方式において、現在アナログタイプがほとんどです。アナログとデジタルの違いについて簡単にいうと、「点火するタイミングが自由に取れるか取れないか」の違いとなります。
点火タイミングは性能に対して重要で、エンジンの性格を変えてしまいます。アナログタイプは、ある範囲の中で点火時期を動かす事はできても、自由にということはできませんでした。そこで、マイコンチップによるデジタル化を図り、各回転での最適な点火タイミングを取ることで、更なる性能アップを目指しました。

「Power Advance Digital ＣＤＩの特長」

- ○ 設定点火タイミングを１種類のみとしました。これはお客様が設定で悩んだり、変化が分からなかったりすることを少しでも減らせればという観点からであり、チューニングパーツによって左右されない、エンジン自身の最適な点火タイミングを設定してあります。
- ○ タコメーターが標準装備でないスクーターにとって、エンジン回転数は気になるものです。そこで、Power Advance Digital ＣＤＩは当社タコメーターへの直接配線を装備しました。今までプラグコードに巻き付けていたエンジンパルス検出コードをＣＤＩに直接接続することができますので、より正確なエンジン回転数表示と、配線接続の簡略化が可能です。

「デジタルＣＤＩとアナログＣＤＩとの性能比較」



＊当社測定結果は測定方法が違う為、カタログデーターとは異なります。

ライブ DIO-ZX カスタマイズ仕様（ビックボア＋ＳＳチャンバー＋ハイスピードプーリーなど）

上記はカスタマイズ車両にて行った比較データ例です。ノーマル車両で性能比較すると、ここまで大きく変化はしませんが、カスタマイズ車両に Power Advance Digital CDI を装着すれば、今まで以上のパワー差を体感できることがお分かりいただけると思います。

⚠注意

- **当社デジタルＣＤＩをノーマル車両に装着した場合、純正プーリーの変速比が低い為、頭打ちしてしまいスピードが伸びにくい状態になる場合があります。エンジンを保護する意味でも、ハイスピードプーリーの装着をオススメします。**

- **車両個体差やパーツの組み合わせ、ご使用状況などによっては、予期せぬトラブルも想定されます。**
  ご使用にあたっては、この取扱説明書記載の「注意事項」を十分ご確認ください。
  カスタマイズ車両はもちろんのこと、ノーマル車両でも、高回転までよく回す乗り方をされる場合にはエンジンが焼き付く恐れがありますので、必ずキャブレター等のセッティングを併せて行ってください。
  また、使用するプラグは、必ず抵抗入りのレジスタープラグ（新品。プラグキャップは純正使用）とし、エン

ジン高回転域使用に耐えうる熱価（標準から#1～2 アップ）のものに交換してください。

タコメーターへの直接配線

この Power Advance Digital ＣＤＩは、タコメーターへ直接接続できる配線を装備しております。
参考までに、当社デジタルタコメーター（品番 46161）への接続方法を以下に記載します。タコメーターに同梱の取扱説明書と併せてご確認ください。

■リモコンＪＯＧ-ＺＲの場合

1．　フロントカバーを取り外します
2．　右図の○部分にあるメインスイッチを確認してください。
3．　メインスイッチから出ている**茶色の配線**を確認してください。タコメーターに付属の結線コネクターを使用して、タコメーターの黒/白（電源）線を割り込ませます。
4．　デジタルＣＤＩから出ている**タコメーター直接配線（白）**と**タコメーターの黒（パルス）線**をギボシ部で接続します。

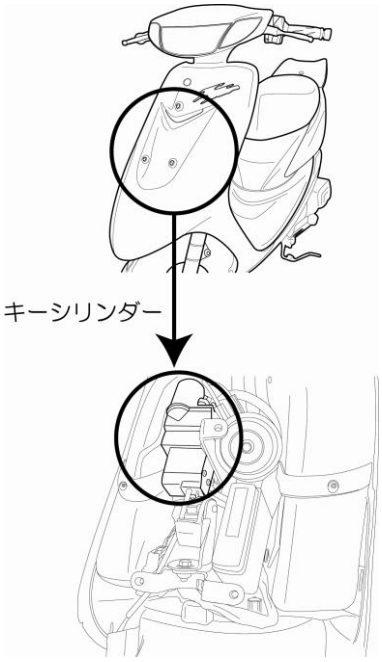
※ギボシ部には確実にスリーブを被せてください。車体ボディの金属部（ボディアース）に直接接触すると、瞬間的な過電流により、CDI が破損する場合があります。

5．　**タコメーターのクワ型端子の黒（アース）線**を車体のホーンのステー締付ボルトと共締めします。
6．　エンジンを始動させ、タコメーターが正常に動く事、照明がつく事、回転数表示が正しいことを確認してください。

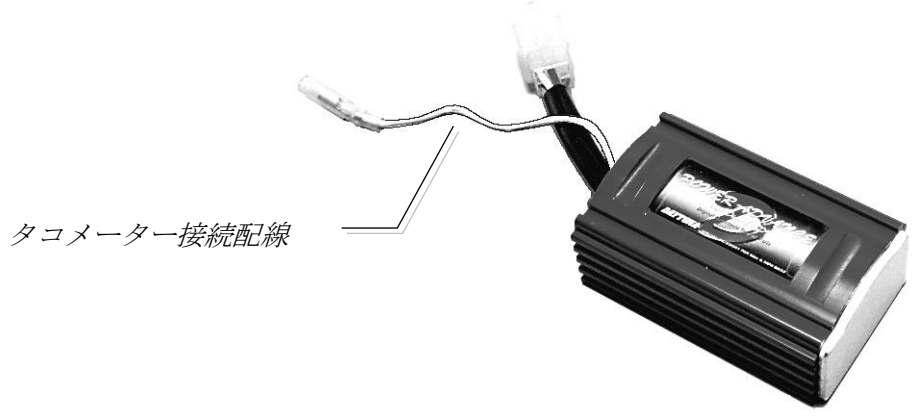
※回転数表示が正しく得られない場合は、回転数表示の設定を再度行ってください。

7．　問題がなければ、取り外した部品を元通り組み付け直し、作業は終了です。

5SW5　ﾘﾓｺﾝ JOG-ZR



タコメーター配線（46161）	*車体/ＣＤＩへの接続*
黒（アース）※クワ型端子	ホーンステーの取付ボルトと共締め
黒/白（電源）	メインスイッチの配線の**茶色**にタコメーター付属の結線コネクターを使用して割り込み
黒（点火パルスセンサー）※ギボシ端子	デジタルＣＤＩの**白線**とギボシ接続



東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒438-0226　静岡県周知郡森町 4805　*この用紙は再生紙を使用しております。

URL：http://www.daytona.co.jp

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」０１２０－６０－４９５５までお願い致します。